

請願文書表

受理番号	請願第16号
件名	坂井輪地区の水害対策について
紹介議員	佐藤幸雄, 高橋三義, 梅山 修, 小林義昭, 加藤大弥, 宮原典子, 小山 進
要旨	<p>平成19年8月28日未明の集中豪雨では, わずか1時間程度の降雨にもかかわらず西区の各地域において床上・床下浸水被害や道路冠水, マンホールふたの浮上等により, 市民生活に多大な影響と不安を与えました。特に坂井輪地区の南斜面下や北斜面下の地域では, 高台からの雨が一気に流れ込み被害は甚大でした。</p> <p>当日は午前3時過ぎからの降雨で就寝中であったこと, また, 短時間で水が押し寄せてきたことから, 車を移動する暇もなかったとの声を多くの方から聞きました。</p> <p>また, 南斜面下の地域である小針・寺尾地域の方からは, 8.4水害後, 莫大な費用を使って小新ポンプ場や坂井輪雨水幹線などの下水道整備をしたにもかかわらず, このような状況となったことは, 小新ポンプ場が稼動しなかったのではないかなどの声も寄せられています。</p> <p>北斜面下の地域である, 真砂町・上新栄町・五十嵐地区においても, 国道402号が50センチメートルも道路冠水するなど, 周辺地域で多くの浸水被害が発生しました。</p> <p>この地域は今年度に入ってから8回も道路冠水し, たび重なる被害に住民もうんざりしています。海への放流口が砂で閉塞することが原因の一つとされていますが, 抜本的な雨水対策と低地部の局所対策の必要性を痛感しています。</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>
付託 年月日 委員会	<p>平成19年12月6日</p> <p>第1項 } ~ } 第6項 }</p> <p>環境建設常任委員会</p>
受理	平成19年12月3日 第1585号

今回の豪雨では、西区の南斜面下及び北斜面下の地域での被害が激しかったことから、斜面下での雨水対策が不備であったと言わざるを得ません。

私たち住民は、坂井輪地区がすぐれた居住環境のまちであるとの思いから、この地に住んでいます。住民が安全に安心して暮らせるよう、下記の事項について早急に検討を行い、抜本的な対策と緊急的な対応に取り組むようお願いいたします。

記

- 1 地域特性を考慮した雨水計画の見直しと抜本的対策について
- 2 北斜面(国道 402 号沿線)の緊急対策と恒久的対策について
- 3 水害常習地域の局所対策について
- 4 坂井輪雨水幹線の未整備区間の早期着手について
- 5 小新ポンプ場のポンプ作動システムの見直しについて
- 6 豪雨等の非常時における市民広報について